令和８年度　小金地区意見交換会のテーマについて

（団体名）　小金宮元町町会

（件　　名）　防犯指導員の担い手の確保について

（具体内容）

　小金地区では青色防犯パトロール車両を２台保有し、自主防犯パトロールを実施しています。しかしながら、防犯指導員の高齢化に伴い、パトロール活動から退く町会・自治会が増加しており、現在も巡回を継続している町会・自治会への負担が年々大きくなっています。

　一方で、青色防犯パトロールは地域住民に安心感を与え、犯罪抑止や不安解消にもつながる重要な活動であることから、今後も継続していきたいと考えています。

　負担が増加している要因としては、現役世代の防犯指導員が少なく、新たな人材の確保が困難な状況にあることが挙げられます。

　そこで、防犯指導員の確保や担い手不足の解消につながる対策として、青色防犯パトロールについては、例えば、市役所職員の退職者の誘致や外部組織への委託も考えられると思いますが、効果的な取り組み及び対策についてお伺いいたします。

（回　　答）

- 本市の青色防犯パトロールの運営は２つの形態がございます。
- １つ目、外部委託による実施で、具体的には、青色防犯パトロール車両で朝・昼・夜の時間帯に巡回し、朝は、小学校周辺を中心に各地区、3 日に 1 度、また、昼・夜のいずれかの時間帯で、毎日、市内全域を巡回する体制を整え、小金地区もカバーされております。
- ２つ目、市職員によるパトロールです。市民安全課を擁する市民部に限らず、組織を横断的に構成された 18 課 18 名の職員によるパトロールを 6 月、9 月、11 月、2 月に各月 9 日間実施し、小金地区については、各月半日、小学校の下校時間帯に巡回するなど、現役職員も地域の見守り活動に取り組んでおります。
- 市といたしましても、地域の皆様の持続可能な防犯活動に向け、地域と本市が実施している事業を組み合わせるなど、双方の取組を活かした、より効果的な防犯パトロールの在り方について、一緒に検討してまいりたいと考えております
- また、ご提案の「市役所職員の退職者の誘致」につきましては、昨年度より退職予定者に対し、地域活動への参加協力の案内を始めたところです
- そのほか、松戸市防犯協会連合会とも協議しながら、防犯指導員の選定基準の見直しや募集チラシ・ポスターの作製など担い手確保と活動の継続に向けて検討してまいります。

（回答課）市民安全課